

## 町田第一小学校の教育

～来年度、開校140周年を迎えます！～

本校は、小田急線町田駅からほど近いにぎやかな街中にあり、地域に根ざした伝統ある小学校です。地元の温かい人情につつまれて子どもたちは伸び伸びと成長しています。

昨年度と今年度は、教育委員会の研究推進校の指定を受け、「自ら育む健やかな体 一進んで運動する児童の育成」を研究テーマに、「体育科」の研究に取り組んでいます。10月12日（金）に授業公開と研究発表会を予定しています。

本校では、毎年多彩なゲストを学校にお招きし、体験や公演などを通して豊かな心を育てる取り組みを行っています。



▲岡田知之パーカッション合奏団 with小林和子

団『双数姉妹』の皆さんに来ていただき、秋の学芸会をめざして発声や体ほぐしなどの演劇の基礎をレッスンしてもらっています。また、二学期の後半には、日本画壇を代表する大津英敏画伯をお迎えし、パステル画を共同で制作する活動を予定しています。

日常の授業にも、多くの地域の方をゲストティーチャーとしてお招きしたり、近隣の大学からの学生ボランティアも多数活動したり、子どもたちの学びを助けていただいています。



▲校内研究授業の様子

昨年度は、10月にシドニーオリンピック競泳銀メダリストの中村真衣さんをお迎えして、あいさつ・ふれあいチャレンジプロジェクト事業を行いました。また12月には、日本を代表するパーカッション岡田知之さんとその合奏団のみなさんをお迎えして、迫力あるパーカッション演奏を楽しみました。

今年度は、一学期からプロの演劇集団



▲プロの演劇集団「双数姉妹」とのワークショップの様子

## 南第一小学校の教育

～輝く子どもたちの笑顔～

本校は、来年度、開校140周年を迎えます。「開藤学舎」の名前で創立されて以来、その名称は何度か変遷を繰り返したものの、学校の場所が変わることなく、この地域の子どもたちを育ててきました。その歴史の象徴が「大王松」と「大げやき」です。この大木は、いったい何人の子どもの成長を見届けてきたのでしょうか。

本校の特色としては、学校とPTA、地域が一体となって行われる「夏休みワクワクスクール」があげられます。夏休みの一日、教職員や地域の皆さんが設定する様々な講座、スポーツ、音楽、実験、料理…子どもたちは、思い思いのコーナーに参加しながら、最高の笑顔を見せてくれます。



▲異学年交流

ち寄ります。「お弁当デー」の日には、学校のあちらこちらで、楽しそうにお弁当を開く様子が見られます。

その他、長年続けられている、読書活動。図書指導員、図書ボランティアの皆さんがすてきな図書館を整備してくださっています。「おはようブックス」は、保護者の方が子どもたちに本の読み聞かせをしてくださる時間です。子どもたちの心が癒やされる朝のひとときです。

南第一小学校は、今も、保護者、地域の皆さんに支えられ、子どもたちの笑顔が輝く学校です。



▲大げやき



▲お弁当デー



# わがまち学校たんけん隊!

## 小山田小学校の教育

～自然や地域を活用し、地域の方や子ども同士の学びの学校～

本校は、緑に囲まれ、鳥のさえずりが聞かれる自然豊かな学校です。今年の春も校舎にはツバメが巣作りをし、裏の里山から竹の子がたくさん採れました。校庭には、芝生が青々と育ち、休み時間には裸足になって遊ぶ姿も見られます。子どもたちはきちんとした挨拶ができ、素直で元気いっぱいです。

本校は創立60周年を迎え、6月16日に記念式典が行われました。前日の記念集会や式典で6年生が、4月から練習に練習を重ねた「sing,sing,sing」の合奏曲を全員が心を一つに演奏し、聴く人たちに感動を与えました。また、昨年の6年生（今の中学1年生）が作った小山田小を凝縮した詩を、集会では全校で、式典では6年生が群読しました。これも聞く人を魅了するもので、会場内のお客様の目頭を熱くするものでした。



▲芝生でのGボール

6年生のサポートを受けながら、2年生はできる喜びを味わうことができました。6年生は下級生から慕われ、憧れられるよいお手本となっています。

さらに、裏にある里山の自然や地域を活用した学習を取り入れています。青少年健全育成地区委員会の方に協力をいただいた稲作やサツマイモの栽培。森林インストラクターの協力を頂いての里山体験。「ぬくもりの園」の高齢者の方との交流会。地域の農家の方にトマトの苗の植え方を教わり、トマトが育つまでの過程や苦労や農家の方の気持ちを学ぶ、等々。ボランティアコーディネーターの尽力があり、自然や地域や地域の方々から心に残る学びが展開されています。



▲60周年航空写真



▲農業委員の方と田植え

## 鶴川中学校の教育

～斬新でモダンな伝統校～

本校は、1947年の新制中学校スタートとともに開校をした、町田市内でも最も伝統がある中学校の一つです。以前は、現在の「子どもセンターつるっこ」の位置（大蔵町）にありましたが、2002年に現在の小野路町に移転しました。

現校地への移転の際、新校舎には斬新なデザインが用いられ、上空から見ると円を4分の1にしたような形が採用され、曲線が多用されています。また、校舎内部には天然木の建具が多く用いられ、木の温もりによる温かい雰囲気になっています。さらに、温水プールや免震構造の体育館など先進的な設備もあり、とても充実した施設になりました。



▲理科メディアセンター

展示等の充実を目指しています。また、学校全体に芸術作品を展示する「鶴川中ミュージアム化計画」を推進しており、教育環境の整備に力を入れています。

このように、鶴川中学校を一言で言うと「斬新でモダンな校舎を手に入れた伝統校」と言えます。これからの鶴川中学校は、地域の皆さまとともに伝統を大切に、人と人のつながりを大切に、その上で今まで以上に新たなことに積極的にチャレンジする学校を目指していきます。



▲鶴川中学校 校舎外観



▲鶴川中ミュージアム 作品展示